

BACH "New York 7"

●BACHトランペット「ニューヨーク7」



い、いわゆる「ニューヨーク・バック」の復刻スペシャルモデルである。これより先に復刻したシカゴ・モデルC管の評価が世界的に高く、「Bb管もぜひ欲しい」という要望が多かったことから限定モデルで発売

されていたが、昨年8月から正式にラインナップに加わった。改めてご紹介するまでもなく、NYバックは1930〜40年代にヴァンセント・バックのNY時代に製作された伝説の名器で、コンバクトでナローなチ

ューニングスライド（主管の幅が狭い）、ライトウエイトのベルやスライド、ラージボア、1本支柱、第3トリガーストッププロッドが逆向きなどの特長があり、それらが忠実に再現されている。

再現され

「ラージ

ボアと言

っても、BAC

Hの場合は外

径を変えずに中

を削りますから管

厚が薄く軽くな

ります。その分、

スライド接合部

のリングなどで

バランスをと

り、この独特の

軽快で反応の良

い吹き素晴らし

い心地が得られ

るんですね」

（野中貿易・小

竹真樹氏）

というスライ

ド接合部のリン

グはニッケルで

出来ているなど

細部には様々な

工夫が見られ

る。ベルはフラ

ットリムのフレ

ンチビード。ベ

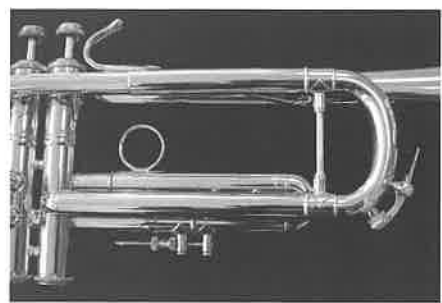
ルと主管の支柱

の台座（ベルブ

レイス）はやや



ラージボアだが、BACHは外径はMLボアと一緒に削るため、管厚が薄くなっている。ライトウエイトになる分、他のパーツでバランスをとっている。



主管の幅が狭いナロースライド。ベルとの幅もやや狭い。第3抜き差しのストッパーが逆向きなのもNYバックの特長。

秘蔵のモデル・セブン・ベルと 細部の仕様を徹底的に復刻し “New York Bach”いま甦る！

●問い合わせ……野中貿易株式会社 TEL：045-211-2022

ヴァンセント・バック
（写真提供：野中貿易）



大きめ。マウスピースレシーバーは標準よりやや長い。ちなみに「NY7」のセブンは、当時最も人気が高かったベルとリードパイプの型番で、バック社「秘蔵」のものだ。
ライトウエイトと言っても、NYバックが伝統的にクラシック奏者に人気が高かったのと同じく、この復刻モデルもクラシック奏者たちの人気を得ている。息の入りやすさや抜群の反応の良さなどが、この楽器が現代に見直される大きな理由になっているようだ。
ゴールドラッカーが28万9800円、シルバークラッカーが30万9750円（いずれも税込）と価格設定も極めて魅力的！